



下幌呂地区で防災訓練

2月18日、下幌呂コミュニティセンターで防災訓練が行われました。下幌呂地区の村民が集まり、コミュニティセンターに設置してある防災倉庫の見学や備蓄品の確認、断水時の給水器具の実演、災害発生時に避難所生活を送ることになった場合に備えて、防災資機材である段ボールベッドや仕切りベッド等の組み立て方の説明を受けました。

また、非常用食料として、複数年保存の出来る米やパン等の食料を紹介し、災害に備え自宅等に備蓄しておくことの大切さなども伝えられました。

鶴居村かるた同好会・下幌呂下の句カルタ同好会が全道大会出場

鶴居村かるた同好会と下幌呂下の句カルタ同好会の3チーム（合計12名）の選手が、2月18日に札幌市で開催された「第27回北海道子どもかるた大会」へ出場しました。

大会では、鶴居村かるた同好会（中学生の部）の雪裡の炎が準優勝、残りの2チームにおいても、2回戦まで駒を進めるなど、全道大会という大きな舞台でも、自分たちの今持っている力を発揮し、チーム一丸となって臨むことができた大会になりました。今回の大会で得た経験や悔しさをバネに、鶴居村の子どもたちが心身ともに大きく成長してくれることを期待しています。



鶴居中学校が釧路管内教育実践表彰を受章

北海道教育庁釧路教育局では優れた教育実践に取り組み、管内教育の向上に大きく貢献した学校や団体等を表彰していますが、令和5年度の「釧路管内教育実践表彰」を鶴居村立鶴居中学校が受章し、2月28日に釧路教育局泉野将司局長から瀧本浩之校長に表彰状が授与されました。

鶴居中学校では、令和3年度から村内5校で取り組んでいる「学校力向上に関する総合実践事業」（道教委指定事業）の中核校として、1人1台端末における授業支援システムを活用し、生徒の協働的な学びの実現を図るとともに、授業公開等を通してその成果を村内各校と共有するなど、ICTを効果的に活用した学校改善に大きな成果を上げています。

また、学校業務へのクラウドの活用を進め、村内学校間や教職員間の情報共有の効率化を実現したほか、オンラインによる会議や研修の実施を日常化して、校務の情報化を牽引するなど、包括的な学校改善に向けた実践が高く評価されました。

